**ハンドマイク街頭演説原稿例　　新型コロナ問題・五輪中止を**

二〇二一年七月十四日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、東京都で４回目の緊急事態宣言が発令されました。埼玉県などのまん延防止等重点措置も、８月２２日まで期間が延長されました。菅自公政権の新型コロナ対策が大失敗だったことを示すものではないでしょうか。ところが菅政権には、根本的な反省が見られません。そのうえ、緊急事態宣言発令にあたっての政府から国会への説明に、菅首相は出席を拒否しました。緊急事態宣言という重大な決定について国会で質疑に応じ、政府の方針を国民に説明することは、行政の長として最低限の責務です。菅政権の対応は、政府の責任放棄ではないでしょうか。

　また、休業要請に応じない酒類を提供する飲食店について、酒類販売業者に取引停止を求めたり、金融機関から休業を働きかけるよう求めたりするとの政府の態度に、強い批判の声があがっています。すぐに撤回しましたが、政府の失敗を棚に上げ、休業要請に従わないお店を狙い撃ちにするなど、許されないことではないでしょうか。

　みなさん、なぜ休業要請に応じないお店がでるのでしょうか。持続化給付金や家賃支援給付金は１回限り、休業の協力金も少なすぎるため、休業要請に応じたくても応じられない状況だからではないでしょうか。日本共産党は、新型コロナで営業が苦しくなっている業者や、生活が苦しくなっている人たちへの十分な支援策実現へ、引き続き全力で取り組みます。また、新型コロナワクチンの安定供給と正確な情報の公開および迅速な接種、それとセットで大規模なＰＣＲ検査をおこない、新型コロナの拡大を抑えることを、政府に強く求めます。コロナ対策を議論するためにも、臨時国会を開くべきです。

　ところでみなさん、新型コロナの拡大がおさまらない中、東京オリンピック・パラリンピックを開いても大丈夫なのでしょうか。観客を会場に入れなくても、多くの選手や関係者が日本にやってきます。大会運営を支えるため、多くの医療関係者が運営スタッフとして必要になります。オリンピック・パラリンピックのために、新型コロナへの対応にあたっている医療関係者を医療現場から引きはがし、病院などの施設の収容能力を減らしかねない事態を招いて、良いのでしょうか。

　また、オリンピック・パラリンピックのような世界的イベントが開かれて大きく盛り上がれば、どうしても新型コロナへの警戒心が薄れ、感染拡大を招くことにつながりかねません。それに、運動会などの学校行事や地域の行事、さまざまなイベントは中止されるのに、オリンピック・パラリンピックだけは特別扱いされる不公平も、オリンピック・パラリンピックの名前を傷つけることになるのではないでしょうか。

　みなさん、今からでも間に合います。国民の命を守るため、オリンピック・パラリンピックはきっぱり中止し、コロナ対策に全力をあげようと、ご一緒に声をあげましょう。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）